



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月10日

上場会社名 中央自動車工業株式会社
 コード番号 8117 URL <https://www.central-auto.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂田 信一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 住吉 哲也
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6443-5192

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	11,981	0.2	1,953	29.2	2,257	25.0	1,468	49.1
2020年3月期第2四半期	12,003	25.0	2,756	53.2	3,008	46.4	2,881	97.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,624百万円 (41.6%) 2020年3月期第2四半期 2,780百万円 (85.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	80.21	
2020年3月期第2四半期	159.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	36,229	31,198	86.0	1,701.12
2020年3月期	34,505	28,120	81.4	1,535.15

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 31,167百万円 2020年3月期 28,090百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		28.00		28.00	56.00
2021年3月期		28.00			
2021年3月期(予想)				28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,800	4.4	4,200	16.4	4,800	10.4	3,100	20.0	169.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	20,020,000 株	2020年3月期	20,020,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,698,054 株	2020年3月期	1,721,954 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	18,304,875 株	2020年3月期2Q	18,048,339 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、社会・経済活動が大きく制限されるなか、企業収益や景況感の悪化、個人消費の減退やインバウンド需要の急激な減少など、極めて厳しい状況で推移しました。各国の経済活動再開による輸出の回復や経済活性化に向けた政策により、緩やかに持ち直しが期待されるものの、景気の先行きの不確実性は依然として拭えない状況となっております。

国内新車総販売台数（軽を含む）の4～9月の実績は、新型コロナウイルスによる影響から前年同期比22.6%減の約203万台と4年ぶりの前年割れとなりました。内訳は、登録車で同23.7%減の約127万台、軽自動車においても同20.7%減の約76万台となり、6カ月とも前年割れの低水準が続きました。

このような環境下、当社グループでは、時差出勤・テレワークなどの勤務体制やWEBミーティングの導入等による感染防止対策のもと、オンラインを活用した営業活動を推進し、地域に密着したフォロー体制を継続することで、得意先との関係の維持・強化を図り、付加価値の高いオリジナル商材の拡販を行うとともに、中之島R&Dセンターを活用した新規商材の開発に注力いたしました。

これにより、当社グループの売上高は119億81百万円（前年同期比99.8%）、営業利益は19億53百万円（同71%）、経常利益は22億57百万円（同75%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億68百万円（同51%）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

（自動車部品・用品等販売事業）

当社グループの報告セグメントは、前第2四半期連結累計期間において「自動車関連事業」の単一セグメントであり、当第2四半期連結累計期間において、「自動車部品・用品等販売事業」は、従来の「自動車関連事業」の業績のみによって構成されるため、以下では前第2四半期連結累計期間との比較を行っております。

当セグメントにおきましては、新型コロナウイルスの影響により営業活動や海外への渡航が制限されるなか、国内部門では、徹底した感染防止対策を行いながら、地域密着型営業を継続するとともに、高付加価値商材および新商品の拡販に注力いたしました。海外部門では、オンラインを活用して、海外現地社員との連携を強化するとともに、積極的に得意先へのリモート営業も行い、現地状況の把握とビジネスの展開に努めました。

連結子会社のセントラル自動車工業株式会社は、受注台数の減少がみられたものの、当社の主力商品の1つであるCPCブランド商材の生産と新規ブランド商材の量産化にも迅速に対応いたしました。

これにより、売上高は96億59百万円（前年同期比80%）、セグメント利益につきましては22億円（同80%）となりました。

（自動車処分事業）

当セグメントは、2019年12月31日をみなし取得日として子会社化した株式会社A B Tの事業によって構成されております。そのため、前第2四半期連結累計期間との比較は行っておりません。

当セグメントにおきましては、連結子会社の株式会社A B Tは、新型コロナウイルスの影響により取扱台数が前半は大きく落ち込んだものの、6月以降は社会・経済活動の再開等による受注台数の回復傾向がみられるなか、業務を円滑に行い、安定した事業運営を行いました。

これにより、売上高は23億21百万円、セグメント損失につきましては2億48百万円となりました。なお、前連結会計年度における株式会社A B Tの子会社化に伴い、無形固定資産の減価償却費として3億19百万円、のれんの償却費として1億90百万円を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態を分析しますと、

- ① 総資産合計は362億29百万円と前連結会計年度末に比べて17億24百万円増加しております。
増加の主なものは、投資有価証券が25億32百万円であります。
減少の主なものは、受取手形及び売掛金が3億71百万円、のれんが1億90百万円及び無形固定資産の
その他が3億65百万円であります。
- ② 負債合計は50億31百万円と前連結会計年度末に比べて13億54百万円減少しております。
減少の主なものは、支払手形及び買掛金が2億13百万円、未払法人税等が6億62百万円及び流動負債の
その他のうち未払金が2億67百万円であります。
- ③ 純資産合計は311億98百万円と前連結会計年度末に比べて30億78百万円増加しております。
増加の主なものは、利益剰余金が28億71百万円であります。
なお、自己資本比率は、81.4%から86.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想(2020年8月4日公表)につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移しておりますので、現時点における業績予想値の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,626	9,503
受取手形及び売掛金	3,230	2,858
商品及び製品	881	1,116
仕掛品	10	4
原材料及び貯蔵品	16	12
その他	318	315
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	14,078	13,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	886	1,052
土地	2,058	2,058
その他(純額)	182	150
有形固定資産合計	3,128	3,260
無形固定資産		
のれん	4,864	4,673
その他	641	276
無形固定資産合計	5,505	4,949
投資その他の資産		
投資有価証券	9,690	12,222
長期貸付金	735	659
繰延税金資産	607	590
その他	760	740
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	11,793	14,212
固定資産合計	20,426	22,423
資産合計	34,505	36,229
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,139	1,926
未払法人税等	1,444	782
賞与引当金	372	371
その他	1,206	718
流動負債合計	5,163	3,797
固定負債		
退職給付に係る負債	1,090	1,120
その他	131	112
固定負債合計	1,221	1,233
負債合計	6,385	5,031

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,001	1,001
資本剰余金	4,689	4,732
利益剰余金	22,672	25,543
自己株式	△620	△611
株主資本合計	27,742	30,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	372	518
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	14	12
退職給付に係る調整累計額	△39	△29
その他の包括利益累計額合計	347	503
非支配株主持分	29	30
純資産合計	28,120	31,198
負債純資産合計	34,505	36,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	12,003	11,981
売上原価	6,804	6,951
売上総利益	5,199	5,029
販売費及び一般管理費	2,442	3,076
営業利益	2,756	1,953
営業外収益		
受取配当金	121	55
受取賃貸料	26	25
持分法による投資利益	166	220
その他	18	29
営業外収益合計	332	331
営業外費用		
売上債権売却損	15	7
支払手数料	47	3
賃貸収入原価	9	9
その他	8	5
営業外費用合計	81	26
経常利益	3,008	2,257
特別利益		
投資有価証券売却益	1,061	-
特別利益合計	1,061	-
特別損失		
貸倒損失	-	116
特別損失合計	-	116
税金等調整前四半期純利益	4,070	2,141
法人税、住民税及び事業税	1,088	724
法人税等調整額	70	△51
法人税等合計	1,159	672
四半期純利益	2,911	1,469
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,881	1,468

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,911	1,469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△158	140
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△1	△1
退職給付に係る調整額	12	10
持分法適用会社に対する持分相当額	16	6
その他の包括利益合計	△130	155
四半期包括利益	2,780	1,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,751	1,623
非支配株主に係る四半期包括利益	29	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,070	2,141
減価償却費	95	432
のれん償却額	-	190
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,061	-
貸倒損失	-	116
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△46	30
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
持分法による投資損益 (△は益)	△166	△220
受取利息及び受取配当金	△127	△61
売上債権の増減額 (△は増加)	135	368
たな卸資産の増減額 (△は増加)	13	△230
仕入債務の増減額 (△は減少)	△133	△206
未払金の増減額 (△は減少)	△27	△268
未払費用の増減額 (△は減少)	△172	△149
その他	56	△135
小計	2,645	2,006
利息及び配当金の受取額	172	106
法人税等の支払額	△870	△1,362
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,947	750
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△5	△220
投資有価証券の売却による収入	1,413	-
投資不動産の賃貸による収入	26	25
長期貸付けによる支出	△80	-
保険積立金の解約による収入	166	10
有形固定資産の取得による支出	△69	△204
無形固定資産の取得による支出	△19	△5
その他	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,434	△393
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△507	△514
その他	53	39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△454	△474
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,920	△122
現金及び現金同等物の期首残高	10,373	8,826
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,294	8,703

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	自動車部品・用品等販売事業	自動車処分事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,003	—	12,003	—	12,003
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,003	—	12,003	—	12,003
セグメント利益又は損失(△)	2,756	—	2,756	—	2,756

(注) セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	自動車部品・用品等販売事業	自動車処分事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,659	2,321	11,981	—	11,981
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,659	2,321	11,981	—	11,981
セグメント利益又は損失(△)	2,200	△248	1,952	0	1,953

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去額が含まれております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、従来より「自動車関連事業」の単一セグメントでありましたが、前第3四半期連結会計期間より、株式会社A B Tが連結子会社になったことに伴い、従来の事業を「自動車部品・用品等販売事業」とし、新たに「自動車処分事業」を報告セグメントとして加えております。

なお、2019年12月31日をみなし取得日としているため、この報告セグメントの変更が、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報に与える影響はありません。